

令和6年度

# シラバス

(年間指導計画)

静岡県東部総合美容専門学校

## 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

実務経験のある教員等による授業科目一覧表

(衛生専門課程美容学科) 令和6年度															
分類			授業科目	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	衛生行政・美容師法など美容師と関係法規について学ぶ	1通	31	1	○			○		○		
○			衛生管理	公衆衛生・環境衛生・感染症・消毒法などについて学ぶ	1・2通	93	3	○			○		○		
○			保健	人体の構造及び機能、皮膚科学、疾患について学ぶ	1・2通	93	3	○			○		○		
○			文化論	美容の歴史、美容デザインについて学ぶ	1・2通	62	2	○			○		○		
○			美容技術理論	美容の基礎的理論から様々な美容についての目的や注意点などを学ぶ	1・2通	155	5	○			○		○		
○			運営管理	サロン経営に必要な接客技術、労務管理、マーケティングなどを学ぶ	2 1.2	31	1	○			○		○	○	
○			美容実習	シャンプー、カット、ワインディングなど美容師として必要な基礎的技術からメイク、ネイルなど様々な技術を習得する。サロンワークの流れを知る	1・2通	930	30			○	○	○	○	○	
	○		美術・デッサン	パーソナルカラーの理解、スタイル画を学ぶ	1・2通	124	4	○	○		○		○	○	
	○		栄養理論	健康や美を保つための栄養素について基本を学ぶ	1通	62	2	○			○		○		
	○		エステティック・着付	エステティック概論、フェイシャルエステ基礎技術の習得、着付け概論から、浴衣、留袖を着せられる技術を習得	1通	62	2	○		○	○		○		
	○		総合技術	ヘアケアの知識、福祉美容について学ぶ	1通	62	2	○		○	○		○	○	
	○		総合技術ABCDEコース	より深く学習したい、専門的な技術を身につけたいコースを5コースの中から選び、コース別に行われる授業で技術の習得を目指す	2通	124	4	○		○	○		○	○	
	○		選択S	ワインディング、オールウェーブ、コンクール対策として技術を習得	2通	62	2	○		○	○		○	○	
合計				13科目	1891単位時間(61単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各学年において、本校の規定している必修科目及び選択必修科目の授業を履修し、筆記・実技全ての試験に合格していること。	1学年の学期区分	3期
	1学期の授業期間	17週

## 昼間課程教育課程及び授業時数

## 昼間課程教育課程及び授業時数(2年生用)

【衛生専門課程美容学科】

	課 目	標準時数 (2か年)	学校授業時数(2か年)			備 考	
			1年	2年	計		
必修 課 目	関係法規・制度	30	31		31		
	衛生管理	90	31	62	93		
	保健	90	62	31	93		
	化粧品化学	60	31	31	62		
	文化論	60	31	31	62		
	美容技術理論	150	93	62	155		
	運営管理	30		31	31		
	美容実習	900	451	479	930		
	計	1410	730	727	1457		
	学校選択課目名	標準時数	1年	2年	計	備 考	
選 択 課 目	美術・デッサン	600	76	48	124		
	美容教養基礎		62	62	124		
	栄養理論		62		62		
	エステティック・着付		62		62		
	総 合 技 術		62	62	124	186	選択
	選 択 A						A ヘアメイクコース
	選 択 B						B ネイルコース
	選 択 C						C プライダルコース
	選 択 D						D エステティックコース
選 択 E				E アイラッシュコース			
選 択 S		62		62	必修		
計	600	324	296	620			
合 計	2010	1054	1023	2077			

## 昼間課程教育課程及び授業時数(1年生用)

【衛生専門課程美容学科】令和6年度

	課 目	標準時数 (2か年)	学校授業時数(2か年)			備 考	
			1年	2年	計		
必修 課 目	関係法規・制度	30	31		31		
	衛生管理	90	31	62	93		
	保健	90	62	31	93		
	化粧品化学	60	31	31	62		
	文化論	60	31	31	62		
	美容技術理論	150	93	62	155		
	運営管理	30		31	31		
	美容実習	900	451	479	930		
	計	1410	730	727	1457		
	学校選択課目名	標準時数	1年	2年	計	備 考	
選 択 課 目	美術・デッサン	600	76	48	124		
	美容教養基礎		62	62	124		
	栄養理論		62		62		
	エステティック・着付		62		62		
	総 合 技 術		選択 A	62	124	186	選択 A ヘアメイクコース B ネイルコース C プライダルコース D エステティックコース E ワインディング、オールウェーブセッ ティング等
	選択 B						
	選択 C						
選択 D							
選択 S	62	62					
計	600	324	296	620			
合 計	2010	1054	1023	2077			

\* 選択E アイラッシュユコースを美容実習に入れ、必修化した

## 年間指導計画(シラバス)

教科名		対象学年	開講学期	区分
関係法規・制度		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
加瀬川 和夫			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	法学部卒業後、現役美容師としてサロンを経営している			
科目概要				
美容師として遵守すべき美容師法、衛生法規について学ぶ				
指導目標				
社会における法制度の意義と、美容師として遵守すべき美容師法および美容に関する衛生法規を具体的事例から学習し理解できるように、美容師国家試験の関連問題が解けるだけの学力をつける				
評価方法				
定期試験(筆記)の他にワークシートの完成、授業へ積極性を考慮し、出席点8、ワークシート点16、テスト点76の合計100点中60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第1章 法制度の概要	社会規範と法制度の概説	3	
	法の形式	憲法と法律・命令・条例の関係についての概説		
5	第2章 衛生行政の概要	衛生法規の体系の解説	5	
	衛生を担う行政機関	保健所の業務内容の解説		
6	第3章 美容師法	美容師法の目的の概説	3	
	美容師法の体系	憲法の理念と美容師法の関係についての解説		
7	美容の定義	法律用語としての美容の意味の解説	2	
8	美容師とは何か	美容師の定義とその資格の解説	1	
9	美容師養成施設	美容師養成施設の役割の解説	4	
	美容師の免許と登録	美容師免許と登録制度の解説		
10	管理美容師	管理美容師の資格とその責務の紹介	3	
	美容師の義務	美容師の業務上の義務の解説		
	美容所の開設	開設時に届け出をする諸事項の解説		
11	開設者が講ずべき衛生措置	開設者の義務の紹介	2	
	美容所以外での義務	美容を行う場所の開設		
12	立ち入り監査	立ち入り検査への対応についての解説	3	
	違反者に対する行政処分	各行政処分に関する解説		
1	罰則	美容師法第18条の詳説	3	
	第4章 関連法規	生衛法の解説		
2	美容組合	美容組合に関する解説		
	地域保健法	保健所と美容所の関わりについての解説	2	
	労働法	開設者または従業員としての心構えの解説		
		時数合計	31	
教科書	日本理容美容教育センター発行「関係法規・制度」、法令集			
使用教材	教科書、授業ごとに配布するワークシート			
留意点	各種規範の社会的背景も理解すること			



教科名		対象学年	開講学期	区分
衛生管理		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
加瀬川 和夫			講義	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	現役美容師として10年以上従事			
科目概要				
公衆衛生、環境衛生を学び、美容所における消毒の意義を理解し、実践方法を学ぶ科目である				
指導目標				
美容師に関連する衛生措置、具体的な消毒方法を理解して身につけることができ、美容師国家試験の関連問題が解けるだけの学力をつける。				
評価方法				
定期試験(筆記)76点の他、出席8点、授業への積極性16点を加味して、計100点中60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第3編 感染症	細菌とウイルスの構造を知る	6	
	感染症の予防 感染症各論	概念用語の説明 具体的な感染症の詳説		
	具体的な対策の例	美容所での消毒作業を知る		
5	第4編衛生管理技術 消毒に関する法規	消毒の概説 消毒に関する法規の紹介	6	
	消毒法の種類 理学的消毒法	消毒法の種類の紹介 理学的消毒法の解説		
6	化学的消毒法 希釈法	化学的消毒法の解説 水溶液の作り方の解説	6	
	器具の種類と消毒法	適性な消毒方法の選択		
7	第5編衛生管理の実践例	具体的な衛生管理技術の詳説	4	
8	公衆衛生の総復習	公衆衛生の重要事項の確認	2	
9	環境衛生の総復習	環境衛生の重要事項の確認	8	
10	感染症総論	感染症総論の重要事項の確認	6	
11	感染症各論	感染症各論の重要事項の確認	6	
12	消毒法総論	消毒法の総論の重要事項の確認	6	
	希釈法	希釈するための計算練習		
1	国家試験対策	公衆衛生関連の過去問題の傾向と対策	6	
		公衆衛生関連問題の要点整理		
		環境衛生関連の過去問題の傾向と対策		
		環境衛生関連問題の要点整理		
		感染症関連の過去問題の傾向と対策		
2		感染症関連問題の要点整理	6	
		消毒法関連の過去問題の傾向と対策		
		消毒法関連問題の要点整理		
		模擬問題を使った演習		
		時数合計	62	
教科書	日本理容美容教育センター発行「衛生管理」			
使用教材	授業ごとに配布するワークシート			
留意点	国家試験対策も随時行う。			

教科名		対象学年	開講学期	区分
衛生管理		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
加瀬川 和夫			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	現役美容師として10年以上従事			
科目概要				
公衆衛生、環境衛生を学び、美容所における消毒の意義を理解し、実践方法を学ぶ科目である				
指導目標				
美容所における衛生措置、消毒方法を理解して実践できるようにするために基礎を学ぶ。				
評価方法				
定期試験(筆記)76点の他、出席8点、授業への積極性16点を加味して、計100点中60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第1編 公衆衛生	公衆衛生の概要	2	
	公衆衛生の歴史	公衆衛生の歴史的経緯と発展の紹介		
	消毒法の歴史	消毒法の発展とその効用を理解する		
5	美容師と公衆衛生	美容業と公衆衛生の意義について理解する	2	
	保健所と美容業	保健所の業務内容の解説		
	母子保健	母子保健の意義の理解		
6	成人・高齢者保健	日本人の健康について理解する	3	
	介護保険制度	介護保険制度の概要を理解する		
	精神保健	精神保健の目的を理解する		
7	第2編 環境衛生	環境基準の紹介	2	
	生活環境	快適な衣食住の条件を理解する		
		上下水道のあり方の概説		
8	廃棄物	美容所から出る廃棄物の扱い方	2	
9	衛生害虫	美容業と関わる害虫がもたらす感染症を知る	4	
	第3編 感染症	感染症の概説		
10	感染症の分類	感染症の取り扱い方	3	
	病原微生物	病原微生物の性質に関する解説		
11	感染症の予防	予防手段の解説	3	
	感染症法	1～5類感染症の詳説		
12	病原微生物	細菌とウイルスの構造を知る	3	
	感染症の予防	概念用語の説明		
1	感染症各論	具体的な感染症の詳説	4	
2	具体的な対策の例	美容所での消毒作業を知る	3	
		時数合計	31	
教科書	日本理容美容教育センター発行「衛生管理」			
使用教材	教科書、授業ごとに配布するワークシート			
留意点	消毒が実際のサロンワークとしてイメージできるようにすること			

教科名		対象学年	開講学期	区分
保健		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
鈴木 直子			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	現役薬剤師			
科目概要				
人体の構造、機能、皮膚科学を学ぶ				
指導目標				
人体の構造及び機能 皮膚科学を学ぶことにより 表面的な美を追求するだけでなく 健康と美の結びつきの重要性を理解し 実践できる美容師の育成に努める。また 早期より国家試験の問題を数多く解くことにより 国家試験合格にむけての基礎を修得させる。				
評価方法				
期末試験 提出物の内容などから学期毎評価し、60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第2編 皮膚科学	第6章 皮膚及び付属器官の疾患③④⑤	4	
5		皮膚及び付属器官の疾患⑥⑦⑧	3	
		皮膚疾患総合問題		
6		期末テスト対策	4	
7		期末テスト 解説	1	
8	第1編	国家試験対策NO. 1～3 復習と問題解説	1	
9	人体の構造と機能	国家試験対策NO. 4～6 復習と問題解説	3	
10	総まとめ	国家試験対策NO. 7～8 復習と問題解説	3	
11		期末テスト対策 期末テスト	2	
		国家試験対策NO. 9 解説		
12		国家試験対策No. 10～13、国試過去問(保健)	4	
1		国家試験対策NO. 14～17、国試過去問(保健)	3	
2		期末テスト	3	
		期末テスト 解説		
		国家試験対策ファイナル 人体の構造と機能		
		国家試験対策 ファイナル 皮膚科学		
		国家試験対策 国家試験想問題		
		時数合計	31	
教科書	日本理容美容教育センター発行 『保健』			
使用教材	各章ごとに制作した重要事項のまとめワークシートと練習問題 国家試験対策ワークシート			
留意点	多くの過去問題や演習問題を解いて苦手な部分を発見し克服していきます			

教科名		対象学年	開講学期	区分
保健		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
鈴木 直子			講義	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	現役薬剤師			
科目概要				
人体の構造、機能、皮膚科学を学ぶ				
指導目標				
人体の構造及び機能 皮膚科学を学ぶことにより 表面的な美を追求するだけでなく 健康と美の結びつきの重要性を理解し 実践できる美容師の育成に努める。また 早期より国家試験の問題を数多く解くことにより 国家試験合格にむけて基礎を修得させる。				
評価方法				
期末試験、提出物の内容などから学期毎評価し、60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第1編 人体の構造 および機能	第1章 頭部頸部体表の解剖学 国試問題演習	6	
5		第2章 骨格器系① 第2章 骨格器系② 国試過去問演習 第3章 筋系 国試過去問演習 第4章 神経系①	8	
6		第4章 神経系② 国試過去問演習 第5章 感覚器系 国試過去問演習	6	
7		テスト対策 期末テスト解説	6	
8		第6章 血液・循環器系①	2	
9		第6章 血液・循環器系② 国試過去問演習 第7章 呼吸器 国試過去問演習 第8章 消化器①	6	
10		第8章 消化器② 国試過去問演習 第1編 人体の構造および機能 総まとめ演習	6	
11		テスト対策 期末テスト解説	8	
	第2編 皮膚科学	第1～4章 皮膚及び付属器官の構造と機能①②		
12		第1～4章 皮膚及び付属器官の構造と機能③	4	
1		第1～4章 皮膚及び付属器官の構造と機能④⑤ 第5章 皮膚及び付属器官の保健①	6	
2		第5章 皮膚及び付属器官の保健②テスト対策 期末テスト テスト解説 第6章 皮膚および皮膚器官の疾患①②	4	
		時数合計	62	
教科書	日本理容美容教育センター 発行 『保健』			
使用教材	各章ごとに制作した重要事項のまとめのワークシートと練習問題			
留意点	各章ごとにワークシートに書き込みをして、提出すること			

教科名		対象学年	開講学期	区分
香粧品化学		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
石橋 正吉			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
無				
科目概要				
美容施術で使用する香粧品の基礎と種類や使用目的、成分について学ぶ				
指導目標				
香粧品化学についての知識の習得し、美容で使用する香粧品を化学的な視点でみることができる。また美容師国家試験の関連問題が解けるだけの学力をつける。				
評価方法				
期末試験(筆記)、授業態度、小テストを含め60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	4章メイクアップ用香粧品	ベースメイクアップとポイントメイクアップの種類と剤形の知識の取得	3	
5	5章頭皮・毛髪用香粧品	シャンプー剤の分類と主成分の理解	4	
		ヘアリンス剤の使い分けと働きや成分の理解		
		ヘアトリートメント剤のはたらきの理解		
		スタイリング剤の分類と特徴の理解		
		パーマの原理とパーマ剤の理解		
6		ヘアカラーの種類とメカニズムの理解	3	
		育毛剤の種類と機能原料の理解		
7	6章芳香製品と殊香粧品	芳香製品の種類と成分	1	
		サンケア製品の種類と特徴		
		美白用香粧品のメカニズムの理解		
		制汗防臭剤の成分		
8		ニキビ用香粧品成分	1	
9	国家試験対策	国家試験過去問演習	4	
10			4	
11			3	
12			2	
1			3	
2			3	
				時数合計
教科書	日本理容美容教育センター発行『香粧品化学』			
使用教材	ワークブック、国家試験過去問題			
留意点				

教科名		対象学年	開講学期	区分
化粧品化学		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
石橋 正吉			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
無				
科目概要				
美容施術で使用する化粧品の基礎と種類や使用目的、成分について学ぶ				
指導目標				
美容に関する化粧品の種類や、使用目的、成分等がわかるようになる。国家試験の関連問題が解けるだけの学力をつける。				
評価方法				
期末試験の他に、レポート提出等、総合的に判断し、60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	1章 化粧品概論	化粧品の社会的意義と品質特性	3	
		化粧品の規制		
		化粧品の安全性と取り扱い上の注意		
		化粧品と安全性		
5	基礎化学	1.物質の構成	4	
		2.物質の構造		
		3.溶解とコロイド		
		4.イオンと水素イオン指数		
		5.物質の変化と化学反応		
6	基礎化学	6.酸化、還元反応	4	
		7.たんぱく質		
7	2章 化粧品用原料	1.化粧品対象の人体各部	2	
2.水性原料				
8	2章 化粧品用原料	3.油性原料	1	
9		4.界面活性剤	3	
10		5.高分子化合物	4	
	7.香料			
11	2章 化粧品用原料	8.その他の配合成分	3	
		9.ネイル、まつげエクステンション用材料		
12	3章 基礎化粧品	1.皮膚清浄用化粧品	2	
		2.化粧水		
1	3章 基礎化粧品	3.クリーム、乳液	3	
		4.その他の基礎化粧品		
2		まとめ	2	
		時数合計	31	
教科書	日本理容美容教育センター発行「化粧品化学」			
使用教材	ワークブック、国家試験過去問題			
留意点				

教科名		対象学年	開講学期	区分
文化論		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	10年以上美容師として美容室勤務経験有			
科目概要				
理容美容文化の歴史を学び、髪型、服飾の変遷について学ぶ。				
指導目標				
1. 理容・美容文化歴史から髪型、服飾の変遷がわかるようになる。 2. 礼装の種類がわかるようになる。 3. 国家試験に合格できる知識を身につける。				
評価方法				
期末試験(筆記)・平常点(提出物と授業態度など)から評価し、60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	3章日本編・4章西洋編	1年時の振り返り 12.現代(2000~2010年)16. 現代		4
5	4章	1.古代エジプト~3.古代ゲルマン		3
		4.中世ヨーロッパ~5.近世I(16世紀) 練習問題		
6	4章	6.近世II(17世紀) 7.近世III(18世紀)		3
7	4章	テスト練習問題・期末試験解説・9.近代I(18世紀末~19世紀初)		3
8	4章	10.近代II(19世紀)		1
9	4章	11.現代I(1910年代~1920年代)		4
		12.現代II(1930年代~1940年代)		
10	4章	13.現代III(1960年代) 14.現代IV(1970年代) 練習問題		3
11	4章	15.現代V(1980年代) 16.現代VI(1990年代~2010年)		2
12	4章・5章礼装	テスト練習問題・期末試験解説・和装・洋装の礼装		3
		国試対策		
1		国試対策		3
2		国試対策		2
		時数合計		31
教科書	日本理容美容教育センター 発行「文化論」、参考資料、授業プリント			
使用教材	DVD			
留意点	期末試験(85~90点)、提出物・授業態度(10~15点)合計100点とする			

教科名		対象学年	開講学期	区分
文化論		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	10年以上美容師として美容室勤務経験有			
科目概要				
理容美容文化の歴史を学び、髪型、服飾の変遷について学ぶ。				
指導目標				
美容の歴史から各時代の髪型・装飾の変遷がわかるようになり、美容の歴史を人に語るできるようになる。また、国家試験に合格できるだけの知識を身につける				
評価方法				
期末試験(筆記)・平常点(提出物と出席状況、授業態度など)から評価し、60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	1章・2章	1.総論 2.日本の理美容業の歴史の発生～江戸時代	3	
5	2章	3. 4. 近代～現代の理容・美容業	3	
6	3章	1. 縄文 ～ 2. 古代(平安) 3. 中世	4	
7	3章	テスト練習問題・期末テスト解説 4. 近世	3	
9	3章	5. 江戸時代①②③ 6近代(明治)	3	
10	3章	7(大正)・8(20昭和時代)	4	
11	3章	9. 現代 1945年～10.70年代まで	2	
12	3章	5章礼装①和装 テスト練習問題・期末テスト解説	3	
1	3章	10.70年代 テスト練習問題・提出物確認	3	
2	3章	期末試験解説・11. 1980～90年代	3	
			時数合計	31
教科書	文化論、参考資料、授業プリント			
使用教材	DVD			
留意点	期末試験(80点)、提出物と授業態度(20点)合計100点とする			



教科名		対象学年	開講学期	区分
美容技術理論		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子			講義	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	10年以上美容師として美容室勤務経験有			
科目概要				
美容の基礎的理論から用具類の操作・管理方法と衛生的、能率的に技術を行うための理論を学ぶ。				
指導目標				
美容師として必要な基礎的な理論が理解できるようになり、国家試験に合格できるだけの知識を身につける。				
評価方法				
期末試験・平常点(出席状況・提出物・授業態度などから評価)、60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	3章 ヘアデザイン	美容とデザイン、練習問題	6	
5	2章シャンプーング	シャンプーング、ヘッドスパ 練習問題	8	
	4章ヘアカットイング	7ベーシックカット、8シザーズ、9レザーカット、練習問題		
6	5章パーマネントウェーピング	パーマネントウェーブ技術 練習問題	6	
	7章ヘアカラーリング	1.概論 2.種類 3.タイプ別特徴 4.メカニズム 練習問題		
7	6章ヘアセッティング	9.バックコーミング、10.アップ、11.ウイッグヘアピース 練習問題	4	
8	各章	期末試験解説	2	
9	6章	アイロンセッティング、ブロー、練習問題	6	
10	8章・9章	フェイシャルケア、マッサージ、パック・ネイルケア、アーティフィシャルネイル	8	
	10章	ブライダルメイク、修整メイク 練習問題		
11	11章	結髪道具・技術・手入れ・かつら、練習問題・期末試験解説	6	
12	12章	着付け各技術、和装花嫁、洋装花嫁 練習問題	4	
1		国家試験対策(模試)	6	
2		期末試験解説・国家試験対策(模試)	6	
			62	
教科書	日本理容美容教育センター 発行「美容技術理論①」「美容技術理論②」			
使用教材	授業プリント・ワークブック・参考資料プリント・参考教材・美容機械等			
留意点	期末試験(90点)、提出物と授業態度(10点)合計100点とする			

教科名	対象学年	開講学期	区分
美容技術理論	1年	通年	必修
担当教員		授業方法	時間数(単位数)
松田 孝子		講義	93(3)
実務経験	実務経験内容		
有	10年以上美容師として美容室勤務経験有		
科目概要			
美容の基礎的理論から用具類の操作・管理方法と衛生的、能率的に技術を行うための理論を学ぶ。			
指導目標			
美容師として必要な基礎的な理論が理解できるようになり、国家試験に合格できるだけの知識を身につける。			
評価方法			
期末試験・平常点(出席状況・提出物・授業態度などから評価)、60点以上を合格とする。			
授業計画			
月	単元名	指導内容	時数
4	序章	1.美容理論と技術 2.作業姿勢 3.人体各部名称・練習問題	9
	1章	1.美容技術における用具 2.コーム 3.ブラシ 4.シザーズ 5.レザ-	
	4章	1章練習問題 4-3.美容刃物 2.シザーズ、レザ-	
5	1章・4章	4.カットの姿勢 5.ブロッキング・4章練習問題	12
	1章・5章	6.ピン類・ヘアクリップ 7. ロット	
6	5章	1.パーマメントウェーブの理論(歴史と現在)・5章練習問題	8
	1章・6章	8.ローラー、1章練習問題 6-1ヘアセッティングとは 2.ヘアパー	
7	6章	3.ヘアシッピング・4ヘアカーリング 5.ヘアウェーピング・6章練習問題	6
	8章	1.エステティック概論、2.皮膚の生理と構造、8章練習問題、期末試験解説	
8	9章	1.ネイル技術概論と種類 2.爪の構造と機能	2
9	9・10章	5.ネイルケア 10-1メイクアップ概論、10-6 メイクアップ道具と消毒	10
	1・2章	9.ヘアアイロン 10.ヘアドライヤー、2-1 シャンプーイング総論、2.サトシヤ	
10	1章・5章	11.ヘアスチーマー、12.遠赤外線機、5-3 パーマ剤の分類、4.注意事項 1.2.5章練習問題	11
	10章	5.フエイスプロポーション 4.色彩について 5.パーフェクトカラー 10. まつ 毛エクステンション	
11	8章・10章	8-3 カウンセリング 練習問題 10-7 メイクアップ 10章練習問題、期末 試験解説	8
12	2章・4章	2-4 リンス・コンディショナー・トリートメント 5.スカルプトリートメント 4-6 ヘアカットイングの基礎理論	7
1	11章	1.日本髪由来 2.結髪道具 3.種類と特徴・練習問題	12
	12章	1.着付けの目的 2.礼装 7.各部名称 8.着物のたたみ方	
2	2・4・12章	2・4・12章練習問題、期末試験解説	7
3	各章	一年間のまとめ・プリントの整理	1
			93
教科書	日本理容美容教育センター 発行「技術理論①」「技術理論②」、参考資料、プリント		
使用教材	授業プリント、DVD、美容機器等		
留意点	期末試験(90点)、平常点(出席率・提出物・授業態度などで10点)合計100点とする		

教科名		対象学年	開講学期	区分
運営管理		2年	1・2学期	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
宮口 秀和			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
有	美容商材ディーラー経営者、美容師として美容室勤務経験有り			
科目概要				
サロン運営に必要な経営管理、労務管理の基礎、接客マナー、マーケティングなどを学ぶ				
指導目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職する心構え、開業するための基礎知識、お客様の大切さ等が理解できるようになる。</li> <li>・国家試験に合格できるだけの知識を身につける。</li> </ul>				
評価方法				
期末試験(筆記)から学期毎評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第1章 経営とは経営者とは	経営が必要とされる理由 経営とは何か	6	
	第1章 経営とは経営者とは	経営資源と経営計画		
	第2章 理容業・美容業の経営	理容・美容業界の現状 競争の変化		
	第3章 資金の管理	資金管理とは コストを管理する		
5	第3章 資金の管理	収支と損益 会計の考え方	8	
	第3章 資金の管理	コストを管理する 税金について		
	第2編 人という資源	人の能力を高める		
	第1章 人という資源	人をやる気にさせるために 給与		
6	第1章 人という資源	福利厚生 労働者の権利	6	
	第2章 健康・安全な職場環境	健康管理の基礎		
	第2章 健康・安全な職場環境	理容・美容業の仕事と健康 健康問題		
7	第3章 従業員の視点から	社会人としての責任 社会保険	4	
	第3章 従業員の視点から	社会保険 キャリアプラン		
	第3編 顧客のために	サービス・デザイン		
8	第1章 サービス・デザイン	価値の実態 価値の多様性	2	
	第1章 サービス・デザイン	サービスの範囲		
	第2章 マーケティング	マーケティング、マーケティング		
9		マーケティングミックスの要因	4	
	第2章 マーケティング	マーケティングミックスの要因		
	第3章 サービスにおける人の役割	接客についての理解 接客の実践		
2		国家試験対策	1	
		時数合計	31	
教科書	日本理容美容教育センター 発行「運営管理」			
使用教材				
留意点				

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 オールウェーブ		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
高橋 英里奈			実習	100(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として美容室勤務経験有			
科目概要				
国家試験課題のスタイルを解説して、フィンガーウェーブ、様々なピンカールができるようになり、国家試験が合格できるように技術の習得を指導する科目である				
指導目標				
国家試験課題のオールウェーブセッティングの構成が理解でき、試験時間内にきれいにできるようになる。国家試験に合格できるだけの技術を身につける。				
評価方法				
学期毎の期末試験(実技試験)と平常点(持ち物、授業態度、模試等)で60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第5章ヘアセッティング	1年次復習	6	
5		メイポールカール、クロッキノールカール練習	10	
6		全頭仕上げ練習	9	
7		課題構成確認	12	
9		オールウェーブセッティング 30分	9	
10		オールウェーブセッティング 27分	15	
11		オールウェーブセッティング 26分 国試対策	9	
12		国試対策	9	
1		国試対策	12	
2		国試対策 ヘアセット	9	
			時数合計	100
教科書	技術理論1、実技試験課題集			
使用教材	オールウェーブ用具一式			
留意点	積極的に自主練習を行うこと。			
(※)時間数(単位数)について補足		美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる		

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 オールウェーブ		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
清名 直子			実習	55(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として美容室勤務経験有			
科目概要				
ヘアセットの基礎から、コームの持ち方、フィンガーウェーブの作り方などを指導し、国家試験課題のスタイル技術の習得を指導する科目である				
指導目標				
フィンガーウェーブ、国家試験課題に合格できるピンカールが作成できるようになる				
評価方法				
期末試験(実技)、平常点(授業時持参品、取り組み方、出席状況等)から評価。60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	6章 ヘアセットイング	実習用具確認	6	
		ヘアセットイングとは		
		フィンガーウェーブのやり方		
5		ノーパート7段構成(1～3段)	5	
6		ノーパート7段構成(4～7段)	6	
7		ヘアカーリング理論と実践	4	
		スカルプチュアカール作り方		
8		スカルプチュアカール(フロント)	2	
9		スカルプチュアカール(3段目、フロント)	6	
10		リフトカール4段目	8	
11		リフトカール5段目	4	
12		メイポールカール、クロッキノールカール	4	
1		全頭仕上げ練習	6	
2		全頭仕上げ練習	4	
			55	
教科書	日本理容美容教育センター 発行「技術理論1」、実技課題集			
使用教材	オールウェーブ用具一式、			
留意点				
(※)時間数(単位数)について補足		美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる		

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ワインディング		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
峯 知世			実習	100(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として美容室勤務経験有			
科目概要				
国家試験課題スタイルのワインディング技術を習得し、パーマネントウェービング技術を学ぶ				
指導目標				
国家試験課題ワインディングが試験時間内に巻けるようになり、国家試験に合格できるだけの技術を身につける。				
評価方法				
期末試験、授業の出席状況、持参品、授業の受講態度などから評価し、60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	章パーマネントウェービング	ブロッキング確認	9	
5		国家試験スタイル19分 早巻き	15	
6		国家試験スタイル19分 早巻き	9	
7		国家試験スタイル20分	6	
8		国家試験スタイル20分	3	
9		グループワーク	12	
10		グループワーク・国試対策	12	
11		国試対策	9	
12		国試対策	9	
1		国試対策	10	
2		国試対策 全頭巻き復習	6	
			時数合計	100
教科書	日本理容美容教育センター 発行「技術理論1」、技術の解説			
使用教材	ワインディング用具一式			
留意点	自主練習を積極的に行う。			
(※)時間数(単位数)について補足		美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる		

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ワインディング		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
峯 知世 ・ 井原 有美			実習	55(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師としての美容室勤務経験有り			
科目概要				
国家試験課題ワインディングに関する基本的な技能及びパーマメントウェービング技術の知識を習得する				
指導目標				
国家試験課題スタイルが巻けるようになり、ワインディングコンクール入賞と国家試験に合格できるだけだけの技術を身につける。				
評価方法				
期末試験(実技)、平常点(授業の出席状況、提出物、授業の受講態度など)から評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	章パーマメントウェービング	使用道具の説明	4	
		コームの持ち方、動かし方		
		ロッドセッティング、ゴムの留め方		
		ワインディングのブロッキング		
		ロッドの巻き方(上巻き、下巻き)		
5		ワインディングのブロッキング	5	
		全頭きれい巻き、フェス展示作品作り		
6		復習、全頭完成60分	6	
7		全頭構成タイム短縮	6	
9		ワインディングのブロッキング	6	
		全頭構成タイム短縮、きれい巻き、		
		コンクール対策		
10		全頭構成タイム25分目標	6	
11		試験対策	4	
12		細かいテクニックの確認	6	
1		校内コンクール対策	6	
2		全頭22分 国家課題に向けて	4	
3		全頭22分 国家課題に向けて	2	
		時数合計	55	
教科書	日本理容美容教育センター 発行「技術理論1」、技術の解説			
使用教材	ワインディング用具一式			
留意点	自主練習を積極的に行う。			
(※)時間数(単位数)について補足		美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる		

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ネイル		1年	9月～3月	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
峯 知世			実習	55(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師としてサロン勤務経験有			
科目概要				
ネイルの知識の習得と技術を指導し、ネイル検定3級取得合格できるよう学ぶ				
指導目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネイルケアができるようになり、ネイリスト技能検定3級試験に合格できるだけの技術を身につける。</li> <li>・ネイルアートに関する基本的な技術及び知識を習得できる</li> </ul>				
評価方法				
期末試験(筆記又は実技)、平常点(出席状況、持参品、授業の受講態度など)から評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
9	8章 ネイル技術	実習用具の確認、ネイル技術理論	6	
		ネイル技術の種類、爪の構造と機能		
		爪のカット形状、テーブルセッティング		
5		ネイルアートの基礎知識	6	
		フェスティバル展示作品制作		
		復習		
9		ポリッシュ類塗り方	6	
		ネイルケア		
		爪の病気、ネイルケア	8	
		復習、ネイルケア3級検定対策	6	
		検定の手順		
10		3級検定対策	6	
11		3級検定対策	5	
		模擬試験		
12		3級検定対策	6	
1		3級検定対策	6	
			時数合計	55
教科書	JNAテクニカルシステムベーシック、技術理論2			
使用教材	ネイル用具一式			
留意点	相モデルでの授業有。検定は筆記と実技有			
(※)時間数(単位数)について補足		美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる		



教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習2		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
井原 有美 ・ 田代 恭也(AT)			実習	124(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師としての美容室勤務経験有			
科目概要				
基本的な技術からサイドシャンプー、バックシャンプー、ヘッドスパなど様々な技術を習得できるように指導する科目である				
指導目標				
美容師として必要なシャンプー技術ができるようになり、ヘッドスパ3級検定試験に合格できるだけの技術を身につける。検定終了後は、国家試験に合格できるだけの技術を身につける。				
評価方法				
期末試験(実技・筆記)、平常点(提出物、授業態度など)から評価し60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	2章シャンプー・イング	サイドシャンプー	タオルの掛け方	10
		プレーンリンス		
5		サイドシャンプー		12
6		バックシャンプー		12
7		バックシャンプー		12
9		バックシャンプー、ヘッドスパ		12
10		ヘッドスパ		16
		検定対策		
11		ヘッドスパ検定対策		10
12		国家試験対策		14
1		国家試験対策		14
2		国家試験対策・シャンプー復習		12
		時数合計		124
教科書	日本理容美容教育センター 発行「技術理論1」、日本ウエルネス・ヘッドスパ協会テキスト			
使用教材	道具一式、化粧品類等			
留意点	試験(80点)、提出物、持参品、衛生面、授業態度(計20点)合計100点とする。 検定は筆記と実技有。			
(※)時間数(単位数)について補足	美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 シャンプー		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
井原 有美 ・ 田代 恭也(AT)			実習	52(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師としての美容室勤務経験有			
科目概要				
シャンプー技術に関する基本からサイドシャンプー、バックシャンプー、ヘッドスパなど様々な技術を習得できるように指導する科目である				
指導目標				
シャンプー時に行うタオルのかけ方ができるようになり、ブレーンリンスやシャンプー技術を身につけ、ヘッドスパ3級検定試験に合格できるだけの技術を身につける。				
評価方法				
期末試験(実技・筆記)、平常点(提出物、授業態度など)から評価し60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	2章シャンプーイング	シャンプー概論、シャンプー台の説明	4	
		タオルの掛け方、ブレーンリンス		
5		ブレーンリンス・サイドシャンプー	4	
6		サイドシャンプー	4	
7		サイドシャンプー・バックシャンプー	2	
8			2	
9		バックシャンプー	6	
10		バックシャンプー	8	
11		バックシャンプー、ヘッドスパ	4	
12		ヘッドスパ	6	
1		ヘッドスパ検定対策	8	
2		ヘッドスパ検定対策	4	
		時数合計	52	
教科書	日本理容美容教育センター 発行「技術理論1」、日本ウエルネス・ヘッドスパ協会テキスト			
使用教材	道具一式、化粧品類等			
留意点	試験(80点)、提出物、持参品、衛生面、授業態度(計20点)合計100点とする			
(※)時間数(単位数)について補足		美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる		

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 メイクアップ		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
峯 知世 ・ 高橋英里奈			実習	95(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師としての美容室勤務経験有。 まつ毛エクステンションメーカーに勤務経験有。まつげエクステンション講師として従事していた経験有。			
科目概要				
美容師として必要なメイクアップの基礎から学び知識と技術を身につける。まつ毛エクステンションの知識・技術を習得する。				
指導目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容師として必要なメイクアップの基礎を学び知識がついて技術ができるようになり、SBS(全美連)メイク検定2級試験に合格できるだけの技術を身につける。</li> <li>・まつげエクステンションに関する基本的な知識を習得し、装着ができるようになる。</li> <li>ABEアイラッシュエクステンションアシスタントディレクター資格取得検定試験に合格できるだけの技術を身につける。</li> </ul>				
評価方法				
期末試験(筆記又は実技)、平常点(出席状況、提出物、授業の受講態度など)から評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	10章メイクアップ	Chapter1～6 ベースメイクアップまで	14	
5		Chapter6・7 ベースメイクアップの仕上げまで	14	
6		Chapter8～10 目元・眉・唇・学科試験対策	14	
7		メイク検定2級対策 通し練習	18	
9		まつげエクステンション概論・用具・衛生管理・保健	6	
10		カウンセリング・事前準備・エクステンションの装着	10	
11		エクステンションの装着、リムービング	4	
12		事前準備・エクステンションの装着、リムービング	6	
1		検定対策・通し練習	7	
2		検定対策・通し練習	2	
				95
教科書	SBSメイクアップテキスト、日本理容美容教育センター 発行「まつげエクステンション教科書」「技術理論2」			
使用教材	メイク用具一式、美容用具一式、まつげエクステンション用具一式			
留意点	メイクは、相モデルの授業有。検定は筆記と実技有(メイクは相モデル)			
(※)時間数(単位数)について補足	美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ヘアカッティング		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
清名 直子			実習	93(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として美容室勤務経験有			
科目概要				
ヘアカット等のシザーズの持ち方、姿勢、基本的カットなどから指導し、国家試験課題のカットスタイルを合格できるよう指導する科目である				
指導目標				
ヘアカットに必要な基礎的技術ができるようになる。国家試験課題のヘアスタイルが試験時間内にカットできるようになり、国家試験に合格できるだけの技術を身につける。				
評価方法				
期末試験(実技)実技90点、平常点10点(持参品、受講態度など)から評価。60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	第4章ヘアカット	1年時復習 正確なパネルの引き出し方		6
		ブラントカット ワンリングス		
5		レイヤーカット グラデーション		9
6		ストロークカット ポインティングカット		9
		スライシング		
7		セニングカット レザーカット テーパーカット		9
9		ベーシックスタイルの創作 実技試験に向けて		12
10		実技試験課題の解説 レイヤーカット		12
11		国家試験対策 第1課題		9
12		国家試験対策 第1課題		9
1		国家試験対策 第1課題		12
2		国家試験対策 サロンスタイル 創作スタイル		6
		時数合計		93
教科書	日本理容美容教育センター 発行「技術理論1」、技術の解説			
使用教材	シザーズ・レザーの道具一式			
留意点	授業の出欠状況、取り組み方も評価に含む。自主練習を積極的に行う。			
(※)時間数(単位数)について補足		美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる		

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習 ヘアカutting		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
井原 有美			実習	81(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として美容室勤務経験有			
科目概要				
ヘアカットに必要なシザーズの持ち方、姿勢、カットの基本から指導し、国家試験課題のカットスタイルをできるよう指導する科目である。				
指導目標				
用具が正しく扱うことができ、ベーシックなカット技術ができるようになる。コンクール入賞できるだけの技術を身につける。				
評価方法				
期末試験(実技)実技90点、平常点10点(受講態度、持参品など)から評価し、60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第4章ヘアcutting	用具の取り扱い方	6	
5	第4章ヘアcutting	ワンレングス(まっすぐ)	9	
6	第4章ヘアcutting	ワンレングス(前下がり)	9	
7	第4章ヘアcutting	ワンレングス(前上がり)	6	
8	第4章ヘアcutting	復習	3	
9	第4章ヘアcutting	グラデーション45度	9	
10	第4章ヘアcutting	グラデーション60度	9	
11	第4章ヘアcutting	セイルレングス(後ろ)	9	
12	第4章ヘアcutting	セイルレングス(前)	6	
1	第4章ヘアcutting	レイヤー(国試)	9	
2	第4章ヘアcutting	レイヤー(国試)	6	
			時数合計	81
教科書	日本理容美容教育センター 発行「技術理論1」、技術の解説			
使用教材	カット用具一式			
留意点	自主練習を積極的に行う。			
(※)時間数(単位数)について補足	美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習1		2年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
馬上 薫			実習	62(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師としての美容室勤務経験有			
科目概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘアカラーリングから多様な美容技術を習得できるように指導する</li> <li>国家試験課題の指導をする科目である</li> </ul>				
指導目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>カラーリングの塗布ができるようになり、コンクール作品が入賞できるだけの技術を身につける。</li> <li>国家試験に合格できるだけの技術を身につける。</li> </ul>				
評価方法				
学期毎、授業の出欠状況、授業時の取り組み方、提出物、作品の完成度などから評価。60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	第6章 ヘアセットイング	フォトコン制作、デザイン決め		6
5	第6章 ヘアセットイング	カット、セットスタイル		8
6	第7章 ヘアカラーリング	ブリーチ マニキュア		6
7		ブリーチ マニキュア		6
8		フォトコン作品完成		2
9		ブロースタイル		8
10		セットスタイル		4
11		セットスタイル 国試対策		6
12		国試対策		4
1		国試対策		6
2		国試対策 実用的技術復習		6
				62
教科書	日本理容美容教育センター 発行「技術理論1」			
使用教材	タオル、ドライヤー、ブラシ類、アップ道具一式、カラー道具一式等			
留意点	コンクール作品で使う飾り等は各自で用意する			
(※)時間数(単位数)について補足	美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容実習(アップスタイル)		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
馬上 薫			実習	58(※)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師としての美容室勤務経験有			
科目概要				
アップスタイルに必要な基本技術から様々なアップスタイルが習得できるよう指導する科目である				
指導目標				
アップスタイルの基礎的技術を身につけ、コンクールに出場できる技術を身につける。				
評価方法				
学期毎、授業の出欠状況、授業時の取り組み方、作品の完成度で評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	第6章ヘアセッティング	道具の説明 ブラシの持ち方、使い方		6
		一束に結う ピンの開け方、留め方		
5		一束結び・カーリーロープ		6
		三つ編み、編み込みスタイル完成		
6		アップスタイル 作品1		8
7		アップスタイル 作品2		6
9		アップスタイル 作品2復習		6
10		アップスタイル 作品3		4
11		アップスタイル 作品4		4
12		アップスタイル 作品4 校内大会		6
1		アップスタイル		6
2		アップスタイル 作品1～4復習		6
			時数合計	58
教科書	日本理容美容教育センター 発行「技術理論1」			
使用教材	ブラシ コーム ダッカール ピン類 すき毛 ゴム類			
留意点	積極的に自主練習を行う。			
(※)時間数(単位数)について補足	美容実習総時間数(単位数)は、2年間で930時間(30単位)となる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美術・デッサン		1年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
馬上 薫 ・ 古川 久容			講義	76
実務経験	実務経験内容			
有	美術系スクールの講師経験有			
科目概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩の基礎から学び、パーソナルカラー検定の2級資格取得を目指す</li> <li>・スタイル画の基本の理解をさせ、デザイン画のデッサンを描けるようにする。</li> </ul>				
指導目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・J-colorパーソナルカラー3級、2級検定試験に合格できるだけの知識を身につけ、自分ブランディングができるようにし、アドバイザーや、サロンワークで活かせる力を身につける。</li> <li>・デザイン画でテーマに沿った作品を完成させることができる。</li> </ul>				
評価方法				
期末試験(筆記)と平常点(授業の出席状況、授業時の取り組み方)で評価し、60点以上合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	パーソナルカラー3級	パーソナルカラーの基礎理論	8	
	序章	色の三属性 色相 明度 彩度		
	1章 2章	4シーズンに合わせた三属性の理解	6	
5	2章 3章 4章	対比 反射 吸収について理解		
		色相對比 明度対比 彩度対比 理解と演習		
6	5章 6章	4シーズンの系統色名と慣用色名について似合う	6	
		コーディネート方法について		
7		3級検定に向けてのポイントまとめ	4	
8		3級ポイントまとめ	2	
9	パーソナルカラー2級	パーソナルカラー活用アドバイザーとは	6	
	序章 1章	PCCSシステムについて		
10	2章	配色演習 統一と変化の考え方について	6	
11	3章	色素をもとにしたコミュニケーション	8	
12	5章 6章	三属性を中心としたドレーピング方法	6	
		簡易ドレープカードを使っでの練習		
1	7章 ヘアスタイル画	コーディネートのアドバイスの提案を具体的に演習	12	
		顔(目・鼻・口)の位置づけを数字的に覚える		
2		2級検定に向けて 4シーズンの特徴まとめ	10	
		ポイント中心にまとめ問題		
3		作品制作 デッサン	2	
		時数合計	76	
教科書	J-colorパーソナルカラー3級・2級テキスト、日本理容美容教育センター 発行「スタイル画」			
使用教材	色相環 トーン表 4シーズンボード カラーカード、デッサン用具、ケント紙			
留意点	2年間で124時間(4単位)となる			







教科名		対象学年	開講学期	区分
美容教養基礎2		2年	2・3学期	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
板垣 典明			講義及び演習	31(1)
実務経験	実務経験内容			
無				
科目概要				
国家試験各教科の演習や、社会人としてマナーや必要な知識を学ぶ				
指導目標				
社会人としてのマナーや知識を身につけ、国家試験過去問題の演習により、美容師国家試験の関連問題の基礎力をつける。				
評価方法				
授業演習の獲得点、期末試験(筆記)の他に、レポート提出等、総合的に判断。60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
9	国家試験対策	挨拶、分離礼、国家試験過去問題の演習	1	
10	国家試験対策	挨拶、分離礼、国家試験過去問題の演習	8	
		挨拶、分離礼、国家試験過去問題の演習		
		マナー、国家試験過去問題の演習		
		マナー、国家試験過去問題の演習		
11	国家試験対策	マナー、国家試験過去問題の演習	6	
		接遇復習、国家試験過去問題の演習		
		接遇復習、国家試験過去問題の演習		
12	国家試験対策	マナー、国家試験過去問題の演習	4	
		マナー、国家試験過去問題の演習		
1	国家試験対策	国家試験過去問題の演習	8	
		国家試験過去問題の演習		
		国家試験過去問題の演習		
		国家試験過去問題の演習		
2	国家試験対策	挨拶、分離礼、国家試験過去問題の演習	4	
		マナー復習、国家試験過去問題の演習		
			時数合計	31
教科書				
使用教材	国家試験過去問題プリント、ワークブック			
留意点	国家試験合格のため、多くの問題に触れる			

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容教養基礎1		1年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
石橋 正吉			講義	31(1)
実務経験	実務経験内容			
無				
科目概要				
国家試験各教科の演習や、社会人として必要な知識を学ぶ				
指導目標				
美容師として、社会生活や営業等で必要な数学の知識を習熟する。				
評価方法				
期末試験の他に、レポート提出等、総合的に判断する。60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	数の計算	* 四則計算 計算の基本		3
5	いろいろな単位	* 生活上必要な単位 重量、長さ、容量、速さ、		4
6		時間の計算と給料		3
7	損得勘定	* 消費税		2
8		* 利益、損益の出し方		1
9				4
10	液体の濃度	* 濃度の計算		3
11		* 体積濃度と重量濃度 * 希釈倍率からの濃度		3
12		濃度問題抜粋)		2
1		* 国家試験の濃度問題演習		3
2	国家試験に向けて	* 国家試験対策		3
		時数合計		31
教科書	無			
使用教材	プリント			
留意点				

教科名		対象学年	開講学期	区分
美容教養基礎2(接遇・マナー)		1年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
板垣 典明			講義及び演習	31(1)
実務経験	実務経験内容			
無				
科目概要				
サロンワークに必要な接遇・マナーの言葉遣い、所作を学ぶ				
指導目標				
サロンワークに必要な「接遇・マナー」を習得でき、SBS(全美連)接遇・マナー3級・2級検定資格の取得ができる知識と技術を身につける。				
評価方法				
期末試験(筆記)結果及び、平常点(レポート提出(内容))を総合的に勘案し60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第1章 学校内マナー 第2章 学校内マナーと美容室接遇の共通スキル	オリエンテーション「美容師としての接遇・マナーの重要性」挨拶・分離礼・おもてなしの心・接客と接遇	3	
		周りの人への接し方・ルールを守る学校内の各部屋でのマナー・身だしなみ・表情・椅子への座り方・立ち方・歩き方		
		話の聞き方・話し方・1分スピーチ・クッション言葉①		
5	第2章 学校内マナーと美容室接遇の共通スキル	話の聞き方・話し方・1分スピーチ・クッション言葉②	3	
		話の聞き方・話し方・1分スピーチ・クッション言葉③		
		SBS接遇・マナー3級検定試験		
6	第3章 美容室での業務の流れ	ロールプレイング体験編①	2	
		ロールプレイング体験編②		
7		オリエンテーション接遇・マナー2級 履歴書による自己表現	3	
		履歴書作成①		
9		履歴書作成②③④	3	
10		就職面接での自己表現	3	
		就職面接にあたっての留意事項①②		
11	2級コミュニケーションスキル研究	接遇・マナー2級面接①②③	3	
12		接遇・マナー2級面接④	2	
1		お客様対応の考え方研究①	3	
		お客様対応の考え方研究②		
2		ロールプレイング演習「台本作成」	3	
		ロールプレイング演習①		
3		ロールプレイング演習②③④	3	
		ロールプレイング演習⑤⑥		
		SBS接遇・マナー2級検定筆記試験		
		SBS接遇・マナー2級検定実技試験		
			時数合計	31
教科書	接遇・マナー3級テキスト / 接遇・マナー2級検定テキスト			
使用教材				
留意点				

教科名		対象学年	開講学期	区分
栄養理論		1年	通年	必修
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
鈴木 直子			講義	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	薬剤師			
科目概要				
健康や美容のための栄養素やライフスタイルについての基本を理解させる。				
指導目標				
美を追求する美容師として 皮膚や毛をはじめとする皮膚付属器官の栄養は食物から摂取することの大切さを認識させ 健康や美を保つための栄養素やライフスタイルについての基本を理解させる。				
評価方法				
期末試験、提出物の内容等から学期毎評価し、60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	第6章 体のリズム	体のリズム 睡眠のメカニズム 練習問題		6
		栄養学の歴史 練習問題		
5	第1章 食生活と健康・栄	炭水化物 糖質と食物繊維 練習問題		8
		脂質 トリグリセリドと脂肪酸		
		コレステロール 練習問題		
6		タンパク質とアミノ酸		6
		アミノ酸スコア 練習問題		
		期末テスト対策 期末テスト		
7		消化の仕組み 消化吸収後の行方		4
8		エネルギー代謝		2
9		ビタミン 脂溶性ビタミン		8
10		ビタミン 水溶性ビタミン		8
		ミネラルについて①		
11		テスト対策 期末テスト		6
		水について		
		アルコールについて		
12		たばこの害について		4
		アルコールについて		
		免疫力を高める・ストレスに負けない食の科学		
1	第4章 ライフスタイル	基礎代謝		6
	第7章 食生活と安全確保	食品の安全を考える 期末テスト対策		
2		皮膚と栄養について 期末テスト		4
		時数合計		62
教科書	㈱化学同人 発行 『食生活と健康づくり』			
使用教材	各章ごとに制作したワークシートと練習問題 東京法令出版㈱ 発行 新食品成分表			
留意点	各項目ごとに、より深く理解してもらうために、練習問題を実施していきます			

教科名		対象学年	開講学期	区分
エステティック・着付		1年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
松田孝子 室伏息吹 白石美和子			講義及び実習	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として勤務経験有。着付けの従事経験が有。			
科目概要				
エステ、着付けの基礎知識、技術の習得をさせる。また検定3級取得を目指し指導する科目である				
指導目標				
フェイシャルエステ、浴衣の着付けができるようになり、SBSエステ検定3級、着付け検定3級の取得をする知識と技術を身につける。				
評価方法				
学期毎試験(筆記又は実技)と、平常点(授業の出席状況、受講態度など)から評価し、60点以上を合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	エステティック/着付け概論	セッティングの仕方スポンジの拭き取り手順確認 準備、人台へ肌襦袢、補整の手順	6	
5	消毒/浴衣の着付け	ポイントクレンジング・ハンドクレンジング手順確認 浴衣着付け	10	
6	皮膚の生理と構造/ 着付け検定対策	ハンドクレンジング手順確認・クレンジング実習 着付け検定対策	6	
7	フェイシャルパック 着付け検定対策	クレンジング～マスクの塗布手順確認実習 着付け検定対策	2	
8	マッサージ理論/着付け	マッサージ手順確認 クレンジングからマッサージまで	2	
9		長襦袢着付け	8	
10	カウンセリング/着付け	マッサージ手順確認 クレンジングからマッサージまで 留袖着付け	10	
11	エステ検定対策/着付け	エステ検定対策実習、留袖着付け	6	
12	エステ検定対策/着付け	エステ検定対策実習、袴着付け	8	
1	フェイシャルケア技術・ 着付け	全体通して実習・機械を使って実習 振袖着付け	4	
			時数合計	62
教科書	美容技術理論2・SBSエステ検定3級用のテキスト、着付け検定3級用のテキスト			
使用教材	エステティックの道具一式、着付け用具一式			
留意点	エステは各々の肌の状態により、相モデルが出来ない場合がある			





教科名		対象学年	開講学期	区分
総合 選択A ヘアメイクコース		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
馬上 薫			実習	124(4)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として勤務経験有			
科目概要				
ヘアカラーリングや様々な美容技術を習得し、コンクール入賞を目指す科目である				
指導目標				
サロンワークに必要な基礎的技術ができるようになる。フォトコンテストに入賞できる技術を身につける。国家試験に合格できる技術や知識を身につける。				
評価方法				
授業の出欠状況、授業時の取り組み方等で学期毎評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	第6章	アップスタイル ピニング	12	
	ヘアセッティング	みつあみ あみこみ		
5		カット セット	12	
		ヘアブリーチ フォトコン制作		
6		マニキュア	14	
7		アイロン・メイク	10	
8		カラーリング	2	
9		フォトコン作品完成 写真撮影	14	
		コーンロー		
		エクステンション		
10		ブロードライ ワンレングス	12	
		ハーフラウンドブラシ ロールブラシ		
11		国試対策	12	
12		国試対策	12	
1		国試対策	14	
2		国試対策、基礎技術の振り返り	10	
			時数合計	124
教科書				
使用教材	美容用具一式、ブラシ ドライヤー ヘアアイロン セット・カット・カラー道具一式 ブリーチ剤 カラー剤			
留意点	授業以外に、放課後作品作り、写真撮影等があります			

教科名		対象学年	開講学期	区分
総合 選択B ネイルコース		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
峯 知世			実習	124(4)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として美容室勤務経験有			
科目概要				
ネイル検定2級取得を目指し、理論・技術を習得する科目である。				
指導目標				
サロンワークに通用するネイルケア、リペア、チップ&ラップ、ネイルアートに関する技能や知識が身につくようになる。また、後期は美容師国家試験に合格できる技術や知識を身につける。				
評価方法				
授業の出欠状況、取り組み方、作品の仕上がりなどから学期毎評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	ネイル	道具、用材類説明	12	
		チップラップ手順		
		検定説明		
5		チップラップ手順	12	
6		チップラップ・クリーンナップ(復習)	14	
7		ファイリング・クリーンナップ	10	
8		チップラップ・カラーリング・アート	2	
9		ネイリスト検定2級対策(通し練習)	14	
10		ネイリスト検定2級対策(通し練習)	12	
11		国家試験対策	12	
12		国家試験対策	12	
1		国家試験対策	14	
2		国家試験対策、技術の復習	10	
			時数合計	124
教科書	JNAテクニカルシステムベーシック			
使用教材	ネイル用具一式、美容用具一式			
留意点	相モデルでの授業があります			



教科名		対象学年	開講学期	区分
総合 選択D エステティックコース		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
清名 直子			講義及び実習	124(4)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として勤務経験有。フェイシャルエステ業務の経験有			
科目概要				
フェイシャル、デコルテ技術や理論を指導し、SBSエステ検定2級合格できるようにする科目である。				
指導目標				
SBSエステ検定2級資格取得をするだけの知識と技能を身につけることができる。また、美容師国家試験に合格できる技術や知識を身につける。				
評価方法				
試験、授業の出席状況、持参品、授業の受講態度などから評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4	エステティック	道具、用材類の説明	脱毛	12
		エステティック概論、機器概論		
		クレンジング		
5		健康な皮膚の条件、肌分析	脱毛	12
		マッサージ概論		
		ハンドトリートメント、マスク		
6		検定対策(通し練習)	脱毛	14
7		検定対策(通し練習)	脱毛	10
8		検定対策(通し練習)	脱毛	2
9		検定対策(通し練習)	脱毛	14
10		検定対策(通し練習)	脱毛	12
11		検定対策(通し練習)	脱毛	12
		国家試験対策		
12		国家試験対策		12
1		国家試験対策		14
2		国家試験対策、技術の復習	脱毛	10
			時数合計	124
教科書	テキスト			
使用教材	エステ用品一式、美容用具一式			
留意点	相モデルでの授業			

教科名		対象学年	開講学期	区分
総合 選択E アイラッシュコース		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	単位数(時間数)
高橋英里奈			実習	124(4)
実務経験	実務経験内容			
有	まつ毛エクステンションメーカーに勤務経験有。まつげエクステンション講師として従事していた経験有。			
科目概要				
まつ毛エクステンションの知識・技術の習得を指導する。				
指導目標				
まつげエクステンションに関する基本的な技能及び知識を習得できる。 ABE アイラッシュエクステンションアシスタントディレクター資格取得をするだけの知識と技能を身につけることができる。また、美容師国家試験に合格できる技術や知識を身につける。				
評価方法				
作品の仕上がり、授業の出席状況や意欲、態度などから評価し、60点以上を合格とする				
授業計画				
月	単元名	指導内容	時数	
4	まつげエクステンション	まつげエクステンション概論	12	
		まつげエクステンションの用具		
		衛生管理		
		保健		
5		カウンセリング	12	
		事前準備		
		エクステンションの装着		
6		エクステンションのリムービング	14	
		学生技術大会練習		
7		エクステンションの装着(タイム短縮)学生技術大会練習	10	
8		エクステンションの装着(タイム短縮)	2	
9		検定対策	14	
10		エクステンションの装着(タイム短縮)	12	
		まとめ・検定受験		
11		国家試験対策	12	
12		国家試験対策	12	
1		国家試験対策	14	
2		国家試験対策、エクステンションの復習	10	
				124
教科書	日本理容美容教育センター 発行「まつげエクステンション」			
使用教材	まつげエクステンション用具一式			
留意点				

教科名		対象学年	開講学期	区分
選択S		2年	通年	選択
担当教員			授業方法	時間数(単位数)
清名 直子			実習	62(2)
実務経験	実務経験内容			
有	美容師として美容室勤務経験有り			
科目概要				
ステージメイク、ヘアセットなどトータルビューティー等様々な美容についての技術習得の他、 国家試験、コンクールで入賞できるように指導する				
指導目標				
各コンクールで入賞できるような技術を身につけることができる。ヘアショーなど様々なセット、メイクや薬剤実習ができるようにすること や、国家試験に合格できる技術を習得させる				
評価方法				
授業の出席状況、受講態度、持参品などから評価し、60点以上合格とする。				
授業計画				
月	単元名	指導内容		時数
4		編み込み、アップスタイル、ステージメイク		6
5		編み込み、アップスタイル、ステージメイク		6
6		ワインディングコンクール対策		6
7		コンクール、フォトコン対策		6
8		コンクール、フォトコン対策		2
9		パーマ薬剤実習		8
10		薬剤実習、試験対策		6
11		試験対策		6
12		試験対策		4
1		試験対策		8
2		試験対策、パーマ実習		4
			時数合計	62
教科書	技術理論1, 2			
使用教材	美容用具一式			
留意点	積極的に自主練習を行う。授業時の取り組み姿勢も評価に含む			